



あきたスギツチファンド

助成事業報告書

第 20 回 (2018 年 12 月助成)

第 21 回 (2019 年 7 月助成)



認定 NPO 法人
あきたスギツチファンド

目 次

(団体名・事業名)

【第20回助成事業】

本ファンド

NPO法人サポートセンター・ビーイング	-----	1
事業名「ビーイングふれあい出前コンサート」		
秋田エアロフェスティバル実行委員会	-----	3
事業名「秋田エアロフェスティバル 畑田美紀スペシャルレッスン」		
トーブ・木こりっこ	-----	5
事業名「間伐材と支障木の活用」		
科学する心を育む会	-----	7
事業名「第32回科学のひろば」		
湯沢びじんプロジェクト	-----	9
事業名「小町の郷・びじんのまちづくり事業」		
NPO法人eナビステーションりあん	-----	11
事業名「シニアを支える事業を周知するためのHP作成」		
びーらぶ秋田	-----	13
事業名「『暴力被害女性支援者養成基礎講座』等の開催」		

冠ファンド 若者の活動を支援するファンド ～秋田銀行行員有志による～

湯沢ストリート村実行委員会	-----	15
事業名「中学生食堂×高校生クリエイトキャンプ in 犬っこまつり」		

冠ファンド 病児の支援活動を応援するファンド～全国心臓病の子どもを守る会秋田支部による～

もぐもぐ	-----	17
事業名「食物アレルギーの子ども応援事業」		

【第21回助成事業】

本ファンド

あきた乾癬友の会	-----	19
事業名「患者会立ち上げ事業 患者会設立による『治療に向き合っていくための場づくり』と『乾癬の正しい知識を普及』する活動」		
傾聴ボランティア秋田「ダンボの会」	-----	21
事業名「傾聴ボランティア スキルアップ講習会」		

混声合唱団 横手フィオレンテ	-----	23
事業名「音楽パワーで地域を元気に！歌でつながる地域連携型コンサート ～古の時を超え、昭和から平成、そして令和へと歌い紡ぐひと時～」		
あぶこれ	-----	25
事業名「生薬資料展示会（龍角散資料展示）」		
NPO法人あきた花咲く教師カネット	-----	27
事業名「教師・医師・保護者で学び広げる特別支援教育講座」		
NPO法人秋田たすけあいネットあゆむ	-----	29
事業名「『子どもの貧困と私たちにできること』講演実施」		
おおだて de 子育て	-----	31
事業名「わわわ de 子育てカフェの開設」		
秋田太平山マラソン実行委員会	-----	33
事業名「第4回 秋田太平山まんたらめの里マラソン RUN DAM」		
 冠ファンド 秋田未来づくりファンド ～秋田銀行行員有志による～		
本庫 HonCo	-----	35
事業名「秋田再発見プロジェクト『日本奥地紀行』を読む 『探検家イザベラ・バード』がみた世界」		
CAP あきた	-----	37
事業名「CAP あきた公開セミナー2019」		
のしろまち灯り実行委員会	-----	39
事業名「2019：のしろまち灯り木育イベント ～大好きな『木』を使ってみんなでコロコロドミノを作ろう～」		
 冠ファンド 秋田魁新報社 がんと生きるファンド		
Third place AKITA	-----	41
事業名「AYA 世代がん経験者へ“あなたはひとりじゃないよ”プロジェクト」		

団体情報

団体名	特定非営利活動法人 サポートセンター・ビーイング	所在地 (市町村名)	湯沢市
-----	-----------------------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	ビーイングふれあい出前コンサート		
実施日	平成30年12月4日	参加人数	
		約120名	
事業内容	① 音楽家小川ロン氏によるコンサート ② 当法人理事長による講和（地域に暮らす障がい者に対する理解促進と支援について） ③ アンケート調査（参加者の意識調査を行い、今後の活動に資する）		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	当法人が15年にわたり継続してきた活動は地域に浸透している。出前コンサートを雄勝高校で実施することができ、地域の将来を担う高校生に福祉に関して意識を高めることができたものと考えている。また、当日参加していただいた地域の方々も地元の高中生とともに歌を歌うことで連帯感を感じていただけたものと思っている。		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・これまで継続してきた事業を、より内容を充実させて実施する。 ・地域の方々に喜ばれ、参加しやすい事業を企画していく。 		

団体名	特定非営利活動法人 サポートセンター・ビーイング
事業名	ビーイングふれあい出前コンサート



小川ロンさんのギターに合わせて歌う雄勝高校の生徒と地域の方々（後方）

〈於 雄勝高校〉

団体情報

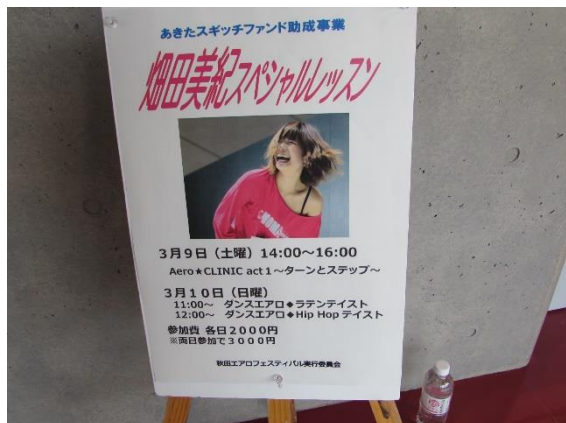
団体名	秋田エアロフェスティバル実行委員会	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	-------------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	秋田エアロフェスティバル 畑田美紀スペシャルレッスン	
実施日	平成31年3月9日から 平成31年3月10日まで	参加人数
		49
事業内容	<p>2016年のダンスフィットネス世界大会で優勝した畑田美紀インストラクターを招待し、一日目は最新のエアロビクスの基本的な動きを確認する初心者に向けたワークショップ及び同ワークショップで学んだステップを使ったエアロビクスを体験。二日目はダンスエアロ（ラテン、ヒップホップ）のレッスンを2本体験できるイベントレッスンを開催する。</p> <p>スギッチファンドの助成により、普段は、1本1500円、合計5～6000円の参加費で参加募集しているところを、今回は一日（2本分のレッスン）2000円、二日間同時申込みで3000円の参加費として、多くの参加者を募った。</p>	
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>目標としては、①初心者向けのワークショップの開催により初心者の参加を促す。②参加費を安価にすることでインストラクターの参加を促す。③世界一の指導者によるワークショップで秋田のエアロビクスのレベルアップを目指す。④インストラクターに今後の指導の参考にしてもらう。⑤ダンスエアロを体験してもらう。</p> <p>①、③、⑤については、通常より20名近く参加者が増加したこと、初参加者が14名あったことから概ね達成できたと考えている。②、④については、インストラクターの参加が増えず、難しいけったとなった。</p> <p>新たな参加者があったことから、その後のに開催したワークショップにも参加者が増え、活動を活発に行えた一年であった。</p>	
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>2020年は、1月に一度東京からインストラクターを招いてイベントを開催し、参加者が34名あり、好評を博すことができたが、その後コロナウイルスの感染拡大により、予定していた首都圏からのインストラクターを招待してのイベント（5回）を全て来年以降に延期することとなった。コロナウイルスの感染拡大状況が落ち着いた時に再開していけるよう準備をしている。また、秋田で活動しているインストラクターのイベントや比較的感染状況が落ち着いている東北で活動しているインストラクターのイベントを開催していくことを考えている。</p>	

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名	秋田エアロフェスティバル実行委員会
事業名	秋田エアロフェスティバル 畑田美紀スペシャルレッスン



立て看板や横断幕にスギッチファンドの助成事業であることを明示しました。



一日目のレッスン風景



一日目の集合写真



二日目のレッスン風景



二日目の集合写真

団体情報

団体名	トープ・木こりっこ	所在地 (市町村名)	北秋田市
-----	-----------	---------------	------

事業紹介

事業名	間伐材と支障木の活用		
実施日	平成30年12月10日～平成31年6月末日	参加人数	
		作業人6人 50日	
事業内容	<p>北欧の杜・近郊の森林荒廃、北秋田市郊外七日市里山からの間伐材・支障木の活用、刈払いしながら野生動物の対策も出来ることから緑、水の地域の守りも念頭に置いての事業となりました。</p> <p>間伐材使用については、炭焼き、防災時、キャンプに使える木ろうそくが好評でした。杉ツリーはクリスマス、正月の門松にと幼稚園に寄贈。炭は農家の土壌汚染対策に使用。イベントにも出品。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>間伐材の木ろうそくの販売は好評でした。防災時、お楽しみキャンプ、等普段は椅子等にも使用できるのでイベント等には積極的に販売参加しました。この活動から、秋田森づくり活動サポートセンターからのアドバイス、森林学習講習会にもメンバーとして参加出来ました。植樹祭も開催出来ました一般市民の方々から森林間伐材の提供があります。</p> <p>薪、炭、木ろうそく、木工加工品、アイデア商品が楽しみながら、少しですが収入もあります。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>これからの里山対策は高齢化と少子化問題で個人が所有山林は荒れたまま手入れも出来ない状態、私達の活動を見て沢山のかたから相談、お願いがありました。一緒にこれからの事に取り組むことを計画したい。</p> <p>山林の手入れの学習、作業工具の使い方の学習、広葉樹苗木の学習、間伐材の利用の学習、伐採後の広葉樹苗木の植樹等学習すべき事を次期世代の為に感じました。</p> <p>コロナ禍の中、自然の中での作業は事業継続に繋がると思います。</p>		

団体名	トープ・木こりっこ
事業名	間伐材と支障木の活用



間伐材活用素材加工作業

木ろうそくの活用
防災用、キャンプ、
普段は木の椅子にも、
お花の台等にも。



間伐材利用の木ろうそく。

燃焼時間は3時間位。
鍋をかけて調理も出来ます。

災害時には
暖房の役割出来ます。



大館市ニフロドーム

間伐材、支障木、除伐材を
活用した製品を紹介、販売。
木ろうそく・
木のえんぴつ・炭
クロモジ茶
杉箸
木工遊び

団体情報

団体名	科学する心を育む会	所在地 (市町村名)	由利本荘市
-----	-----------	---------------	-------

事業紹介

事業名	第 32 回科学のひろば		
実施日	平成 30 年 (2018 年) 12 月 23 日 (日)	参加人数	
		119 名	
事業内容	<p>小中学生と高校生に、科学への興味関心を高めること、科学的な物の見方・考え方を育むことを目的として、小中学生対象の理科実験教室を開催した。由利本荘地区の各高校からスタッフとして参加する高校生が、来場した小中学生に実験の原理ややり方を指導する形をとり、実験や工作を楽しんでもらった。</p> <p>会場は由利工業高校。実験内容は七宝焼き体験、電気に関する学習、過飽和現象、スライム時計やスーパーボール作りなど 16 種類を準備した。午前と午後募集を分けているが希望すれば 1 日中参加もできる。</p>		
(評価) 目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>2002 年より継続して開催しており、実験範囲は理科の各分野をカバーしている。当初は高校生スタッフを科学部員に限定したものの、近年は理数科や一般の参加生徒が増えている。</p> <p>終了後は、参加した小中学生、保護者、高校生からアンケートをとり評価や改善点などを検討する。小中学生にとっては日常学校や家庭でできない実験や工作を一对一で教えてもらいながら取り組める場であり、高校生にとっては学んだ知識を正しく分かりやすく伝えるコミュニケーションの場である。相手に喜んでもらうことによって実験の改善や新規実験を自発的に提出できるようになったことが効果である。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>実験テーマに関しては、継続している人気テーマ、教科書にある基本的なもの、テレビや社会で話題になっているもので実験可能なものなど多岐にわたっておりテーマ数や種類には事欠かない。予算その他の条件の中で効果的な実験観察・工作を工夫することが団体内での課題である。また、地域におられる自然科学の識者や技術者にも参加・指導をお願いしたいと考えている。このような実験教室に地元で気軽に参加して、実物に手を触れ体験できることが本団体の主催する事業の主眼である。この姿勢を堅持していきたい。</p>		

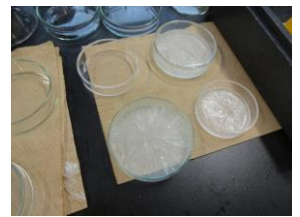
スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名 科学する心を育む会
事業名 第32回科学のひろば

当日の実験の一部を紹介します。

写真上段左は、七宝焼きのアクセサリー作り、上段中は「電気を学ぼうシリーズ」の一つ。上段右は製作した箱カメラを試しているところ。

写真中段左は、スライム時計作りとともに3Dプリンターでのジョイント作りを紹介。同じく中段中は「でんじろうせんせいの風船輪くぐり」体験。中段右のシャーレは過飽和から結晶析出したもの。下段左はスーパーボール作り。下段右は紫キャベツの色変化を見る実験である。



団体情報

団体名	湯沢びじんプロジェクト	所在地 (市町村名)	湯沢市
-----	-------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	小町の郷・びじんのまちづくり事業		
実施日	平成30年12月2日～令和元年8月31日		参加人数
			2000人
事業内容	<p>7年前から発行してきた『びじん証明書』&『びなんし証明書』を、新元号となる次年度に向けてプレミアム感のあるデザインにリニューアルし、SNSやポスター、ラジオ、TV等で告知し、“びじんのまちゆざわ”を広くPR。</p> <p>びじん証明書は、漢字表記の「美人」ではなく平仮名で「びじん」で表記。それは容姿の美より、内面美、行動美など幅広い観点から捉え、“親しみとぬくもりのある証明書”として「湯沢に来れば身もココロもキレイになる!」「元気になれる!」そう思ってもらえる湯沢ファンを県内外に増やしていこうというもの。また、「実は賞味期限(有効期限)があるんですよ」と伝えることで再び訪れるきっかけが生まれリピート客、交流人口の増加にもつながる夢とユーモアのあるプロジェクトである。協力店・施設にはノボリ、ポスター、証明書を配置。「びじん証明書」のノボリ旗を立てることで「え?なに?」と通行人の印象に残り集客にも一役買っている。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>当初21店舗でスタートした協力店は23店舗までになった。その後、環境の変化とコロナ禍の影響で5店舗が協力を休止、現在は18店舗となった。証明書3000枚(びじん・びなんし各1500枚)製作し、令和2年9月末日で1732枚の寄付付き有料配布、PRのための無償配布約300枚を含めると約2000人の手に渡っている。1枚100円で発行、内30円が“美”に資する活動のために積み立てられ51,960円となった。その中から2つの事業に活用された。1つは、美人絵灯ろう写真展に協賛。もう1つは湯沢翔北高校総合ビジネス科 GIFF アニメ班とコラボ。作画用具としてタッチペン&ボード4セットを寄付、現在“びじんキャラ展開”を制作中!活動は都度Facebookで発信しているが、毎日新聞秋田版やさきがけ新聞県南版でも紹介された。また、AKT「JAみどりの広場」等でも体験取材で取り上げられた。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>湯沢翔北高校総合ビジネス科 GIFF アニメ班とのコラボ企画として“びじんキャラ”制作が進行中だが、完成した暁には、公式ホームページで公開するとともにテレビ、新聞等にも情報提供し、さらにはコロナ後の観光イベントにおいても露出できるよう一層PR展開を図り明るい話題を提供していきたい。</p>		

団体名 湯沢びじんプロジェクト
 事業名 小町の郷・びじんのまちづくり事業



協力店のひとつ
 小安峡温泉
 きらめき女子会
 (若女将の会)の会員旅館



R1.10.12
 AKT
 JAみどりの広場
 体験レポート



スギッチファンド助成事業 活動報告書 1

団体情報

団体名	特定非営利活動法人 eナビステーションりあん	所在地 (市町村名)	能代市
-----	---------------------------	---------------	-----

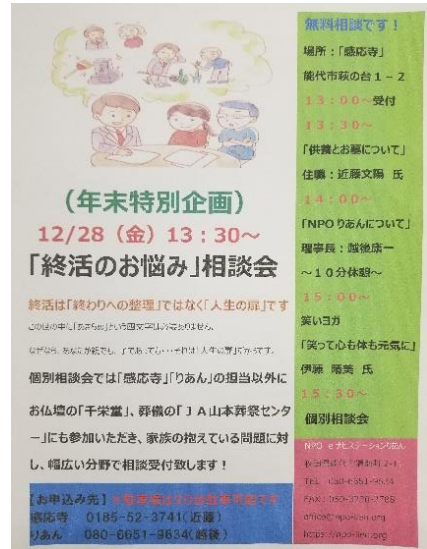
事業紹介

事業名	シニアを支える事業を周知するためのHP作成		
実施日	日時→2018年12月28日(金) 13:30～ 場所→能代市「感応寺」講堂	参加人数	
		8名	
事業内容	<p>少子高齢化に対する諸々の家族問題を解決する団体として、NPO法人を立ち上げ、スギッチファンド採択後、早々に1回目のセミナーを開催しました。セミナーの内容は①身元保証人相談②見守り相談③空き家対策④死後事務委任契約等、地元親世帯と遠隔地の子世帯の複雑に絡んだ家族問題を解決しようとする当法人が目指すべき地域型プラットフォームの説明でした。</p> <p>年末の開催ということもあり、少人数でしたが、年明け7月には、能代市からの委託事業である「市民プラザ」を運営開始し、徐々にですが認知度が増し、自治体や社協、包括支援センターを通し、終活相談で困っているご家族や、一人暮らしの高齢者の方が来店されるようになりました。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>スギッチファンドを利用し①チラシやポスターの作成②館内に設置したパブリックビューイング向けスクリーンによる法人紹介③ホームページ作成による遠隔地子世帯への告知・宣伝が功を奏し、今では他地区の自治体や関連団体から「活動内容を視察したい」との申し出もできるようになりました。</p> <p>月に数件程度ですが、継続的に相談案件があり、全国初の「家族問題の総合窓口活動」は、間違いなく各自治体が直面している重要課題を民間が解決してあげる「共存パートナーとしての役割」を確立できたと考えております。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>当法人の今後の活動方針として、自主事業50%、委託事業30%、その他事業20%を目指し、地域の関連諸官庁と情報交換しながら、終活で困っている家族に寄り添い、総合コンシェルジュ的な存在を確保し、能代・山本地区から秋田県全域に拡大していくつもりです。</p> <p>新たな事業展開としては「第23回スギッチファンド」「コロナ緊急スギッチファンド」でも採択いただいた内容として、6ヶ月という秋田ならではの冬期間のコミュニケーションの起爆剤として「eスポーツセミナー」を開催し、多世代交流ができるeスポーツで、地域の活性化を図っていくつもりで邁進していきます。</p>		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名	特定非営利活動法人 eナビステーションりあん
事業名	シニアを支える事業を周知するためのHP作成

終活セミナー
講師：越後 康一 (2018)



その他、チラシ



団体情報

団体名	びーらぶ秋田	市町村名	秋田市
-----	--------	------	-----

事業紹介

事業名	「暴力被害女性支援者養成基礎講座」等の開催		
実施日	令和元年6月22日、23日、7月6日、7日（全4日間）		参加人数
			延164名
事業内容	① 「暴力被害女性支援者養成基礎講座」（全4日間・22時間）の実施 ② 「びーらぶ秋田」のリーフレット作成		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<ul style="list-style-type: none"> ・「暴力被害女性支援者養成基礎講座」アンケートより <ul style="list-style-type: none"> *満足度は「大いに満足度」68%、「まあまあ満足」20%。約9割が満足。 *今後の活動に役立つ内容だったか、「とても役立つ」56%、「役立つ」40%。ほぼ全員が役立つであった。 *アンケート結果より、概ね目的は達成されたと思われる。 *次年度の講座開催の希望が多くあった。 ・全11回出席者(34人)に修了書を授与した。 ・相談や活動に携わる支援者の、支援の質を上げていくことになったと思われる。 ・基礎講座を受講したことで、地域社会に暮らす一人として自分に出来ることは何か、各人が自主的な関わり方を考える機会になったと思われる。一人ひとりの意識が変化することにより、暴力被害女性とその子どもが、生きやすい地域社会の一助となる。 		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<ul style="list-style-type: none"> ・この講座は、被害者の視点に立ち、「当事者には力がある」というエンパワメントの思想を持つ支援者を育成することが特徴である。 ・暴力被害女性とその子どもたちが、その人らしく生き生きとできる地域社会をつくるためには、特別な人ではなく、地域で暮らす私たち一人ひとりが支援者となる必要がある。その為には、正しい知識を得ることと、支援者自らの価値観を見直すことが必要となる。参加者のアンケートに「自分の偏見に気づいた。」「偏見や差別が暴力を生み出すことになる」とあった。講座を継続して開催し、自分の中の価値観を点検する機会を今後も提供していきたい。 ・被害当事者がエンパワメントされる機会として、当事者が参加しやすい環境を整えたい。 ・4日間という長期間の講座を通じ、参加者同士の交流の場、情報交換の場として役立てるよう工夫したい。 		


団体名 びーらぶ秋田
 事業名 「暴力被害女性支援者養成基礎講座」等の開催



① 「暴力被害女性支援者養成基礎講座」

- * 講師：NPO 女性ネット Saya-Saya の代表理事を含む 2 名
- * 秋田市の共催事業。秋田県の後援を受け県内に広報活動を行う。参加者申込者 54 名 (定員 40 名)。
- * 参加者属性
 所属：行政職員、福祉施設職員 (母子生活支援施設、婦人保護施設)、相談員、保育士、医療関係、NPO 団体、学生、個人でボランティアをしている等。被害当事者数名が参加。
 年齢：20 歳代から 70 歳代、年齢別では 40 代～60 歳代が 8 割。
 地区別：県南 10 名・県北 3 名・中央 41 名。



② リーフレット 



< 修了証授与 >



スグッチファンド助成事業 活動報告書 1

団体情報

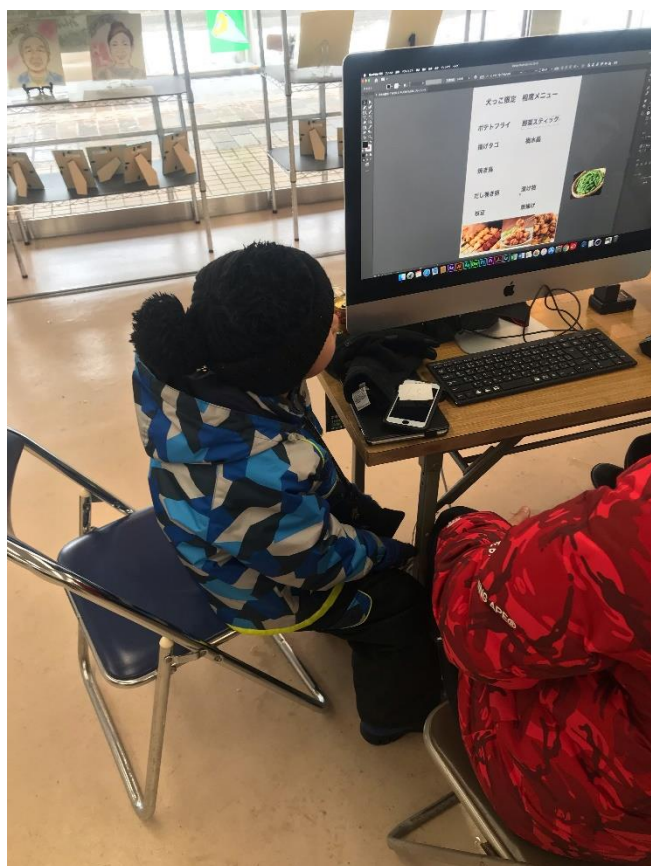
団体名	湯沢ストリート村実行委員会	所在地 (市町村名)	湯沢市
-----	---------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	中学生食堂×高校生クリエイトキャンプ in 犬っこまつり		
実施日	平成 31 年 2 月 9 日、10 日の 10:00~18:00		参加人数
			150
事業内容	<p>湯沢市の中学生が開発したビビンバ丼（すでに湯沢市内の飲食店 2 店舗でメニュー化されている）を湯沢市の伝統行事である犬っこ祭りのサブ会場内において 1 杯 300 円で提供する。</p> <p>同時に同会場で高校生のクリエイトキャンプとしてワークショップを行う。内容としては高校生が講師となり地域プロモーション動画を公開し、編集の方法やカメラワークを学ぶ。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>学生が湯沢市の伝統行事に参加し、企画を立て実際に事業をスムーズに遂行したことは地域の活動に貢献したと思う。とりわけ立案時に地域課題ととらえたサブ会場の形態変化や学生の伝統行事の参加への機会を作ることによって当事業により解決の道筋が立ったことは大きな成果だったと考えている。</p> <p>良かった点として当団体が学生をサポートしながら地域の行事に参加して目標を達成できたこと。改善点としてクリエイトキャンプの打ち出し方や周知方法の戦略をもう少し組まないとならないと思った。具体的には定期的に学生対象のイベントを定期的に企画し日頃から当団体の活動を知ってもらうような取り組みが必要だと考えている。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>コロナウィルスの影響で各イベントが中止の中、当団体は予防対策をした上で今年 2 つのイベントを開催した。</p> <p>現時点で具体的な取り組み企画はないが、定期的な地域活性イベントと学生と社会が交わるような取り組みを続けていきたい。</p>		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名	湯沢ストリート村実行委員会
事業名	中学生食堂×高校生クリエイトキャンプin犬っこまつり



左
地元の居酒屋さんがクリエイトキャンプに参加。おすすめメニューを作っています

下段左
レストランで販売開始直前の生徒たちの様子です

下段右
そして販売開始直前になると、こんなに大勢のお客さんが並びました



団体情報

団体名	もぐもぐ	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	------	---------------	-----

事業紹介

事業名	食物アレルギーの子ども応援事業		
実施日	①平成31年2月24日	参加人数	
	②平成31年8月4日	計88名	
事業内容	<p>全2回の講座を開催</p> <p>① 2月24日 「食物アレルギーの子どもが被災したら・・・誤食したら・・・」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アレルギーなしの調理教室 ・被災時、誤食時の対応を学ぶための医師、民間団体を招いての講演 <p>② 8月4日 「食物アレルギー、どうやって治療するの？」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医師を招いての講演と相談・デザート交流会 		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>より多くの方への周知できるよう、フライヤー、SNSを活用し、このような活動を行っている団体があることを周知できた。</p> <p>この事業により、食物アレルギーの子どもとその保護者の横のつながりが深まり、今後より多くの方々が悩みを話し、情報を得る場所があるという安心感が得られた。他機関と連携することで、食物アレルギーに対する理解が深まり、子ども達が安全で安心な食生活を送ることができる環境が整うきっかけとなった。</p> <p>医師を招くことで、専門的な助言が得られ、正しい知識を得られる機会にもなり、食物アレルギーを持つ親子や関係機関の方から感謝と継続を望む声が多くあった。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>残念ながら食物アレルギーの方はこの先も増える病気であると言われていたことから、SNS等で情報は得られる便利な社会だとしても、同じ悩みを持つ者同士が、自身の悩みを語り合う場が必要であることは、これからも必要だと感じている。</p> <p>今後も、正しい情報を提供し、食物アレルギーがあっても、家族全員が楽しい、おいしいという気持ちを共有し、生活していける社会を目指し、活動していきたい。</p>		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

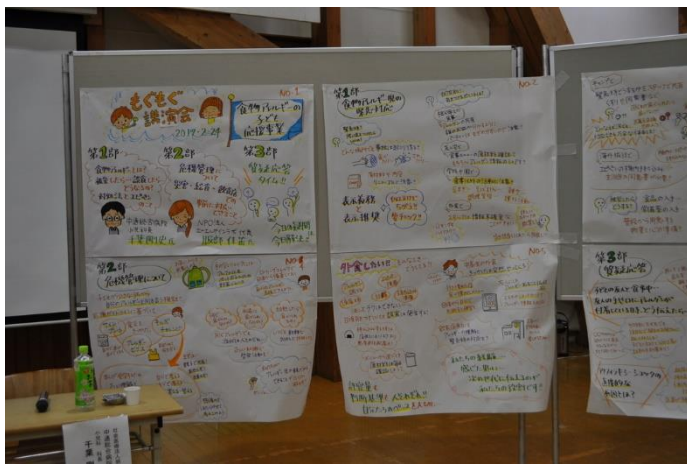
団体名	もぐもぐ
事業名	食物アレルギーの子ども応援事業



医師の講演



調理教室



講演会まとめ



災害時の食物アレルギー対応について
民間団体による講演

団体情報

団体名	あきた乾癬友の会	所在地 (市町村名)	
-----	----------	---------------	--

事業紹介

事業名	患者会設立による「治療に前向きに向き合っていくための場づくり」と「乾癬の正しい認識を普及」する活動		
実施日	令和元年7月8日から令和2年10月31日		参加人数
			延べ 140人
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・市民公開講座の開催 (9/28 秋田市文化会館 主催：マルホ株式会社) ・乾癬患者同士の学習会・交流会 (11月) ・会報の発行 (年2回) 7月に特別号も発行 ・その他 <ul style="list-style-type: none"> +HP作成 +LINEオープンチャット開設 (患者さん・関係者との交流の場) +YouTubeチャンネル開設 (2020/7/17) +オンラインセミナー・フォーラムを開催 		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>2019/7/15に患者会を設立して、新聞・TV等で「乾癬 (かんせん)」について取り上げて頂く機会が増え、以前よりは認識度が広がったように思われます。新型コロナ禍の中自粛を余儀なくされているため、なかなか集まっての開催は難しいのですが、SNS・LINEによるオープンチャット・YouTubeチャンネル開設などを通して、正しい情報を共有して、皆さんとつながりたいと思ってくれた方、「ひとりじゃないよ」の思いを共有して一緒に病気を克服していきたいと思ってくれた方もいました。SNSを通して、少しでも心を開いてくれる場を提供できていることに喜びを感じております。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>秋田は高齢化ということもあり、なかなかリモートでの開催は無理なのかもしれませんが、YouTubeとか動画を見ることは可能なのではと思い、YouTubeチャンネル開設をいたしました。定期的に、乾癬のこと、治療の事を配信して行きたいと思っております。そのほかLINEによるオープンチャットも全国から参加者が増えております。今後は、新型コロナの状況を見ながら、市民公開講座など、一般の方も参加できるような事業を開催出来ればと考えております。</p>		

団体名	あきた乾癬友の会
事業名	患者会立ち上げ事業 患者会設立による「治療に向き合っていくための場づくり」と「乾癬の正しい認識を普及」する活動



2019年7月15日 秋田大学病院の会議室にて、「あきた乾癬友の会」設立総会。県内外から沢山の方が参加して下さいました。貴重な体験・先生方により Q&A など、大盛況となりました。



2019年9月28日に「市民公開講座」をマルホ株式会社さん主催で行われました。県外からも応援に来ていただき、乾癬の患者さんも多数参加して下さいました。治療法や乾癬の仕組みなど、皆さん真剣に聞き入っておりました。



東京主催の乾癬フォーラムに秋田からもリモートで参加させて頂きました。全体としては約70名程の参加でした。

今回は、相談医の先生方も参加して下さい。全国とつながることが出来ました。また、全国の先生方ともつながることが出来、大きな前進となりました。



全国的にも初めて患者会のポスターを作ってみました。
掲載場所は
秋田市役所
秋田市保健所
秋田大学病院
能代市西塚院
能代更生医療センター
信クリニック
秋田県難病相談支援センター
雄勝中央病院

団体情報

団体名	傾聴ボランティア秋田「ダンボの会」	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	-------------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	① 傾聴ボランティアスキルアップ講習会(講師/佐々木久長氏) ② アンガーコントロール&アサーション講習会(講師/佐藤絵里氏)		
実施日	① 平成元年9月30日(月)	参加人数41名	参加人数
	② 平成元年12月4日(水)	参加人数29名	
事業内容	① 傾聴活動を始めた頃の対象は高齢者が殆どだったが、当会の知名度が増すにつれ多世代の方々や内容も多岐にわたり、自信をもって対応するための技術向上を目指し、基本技術の復習に加え自殺予防につながる新しい情報をまじえた実践方式の研修会を開催。 ② 多様な方々と接するにあたり、傾聴技術に不足な部分を補うためにはメンタル面の訓練が必要との考えから最近注目の講座を開催。		
(評価) 目的は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	① ロールプレイの時間を充分にとり、例題で傾聴の実践を行い、反省点を話し合ったことにより、それぞれの聴き癖に気づきその後の活動時に改めて緊張感をもつこと出来た。 ② 傾聴には直接関係はなさそうな講義内容であったが、日常生活に取り入れることにより人格形成に大いに役立ち、それが傾聴態度の向上につながるものと確信している。		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	傾聴を必要としている方々、特に高齢者はボランティアの存在を知らずに寂しい日々を送っておられるご様子。また、介護施設等でも傾聴ボランティアの存在や必要性に気づかず、職員が苦勞なさっているとのこと。 当会としては、傾聴ボランティアの存在を広く周知していただくためパンフレット等を通じた新規作成し、介護施設や包括支援センター等に配付し、傾聴活動の範囲を拡げ、重い心を抱えて悩みの中で生活している方々の支えとなることを目指している。		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名 傾聴ボランティア 秋田「ダンボの会」
事業名 ①傾聴ボランティアスキルアップ講習会（講師／佐々木久長氏）
②アンダーコントロール&アサーション講習会（講師／佐藤絵里氏）



佐々木久長氏による実践方式による講習に、真剣に取り組む会員



佐々木久長氏によるスキルアップを期しての講義に、熱い眼差し



佐藤絵里氏による質疑をまじえての講習を楽しみながら・・・

団体情報

団体名	混声合唱団 横手フィオレンテ	所在地 (市町村名)	横手市
-----	----------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	音楽パワーで地域を元気に！歌でつながる地域連携型コンサート		
実施日	令和元年10月6日(日) 午後2時開演～午後4時30分	参加人数	
		287名	
事業内容	<p>県民の「心の健康増進、文化活動の人口増加、地域文化団体のボランティア活動等の促進」といった3つの課題に対応した事業展開を行う。</p> <p>元号も平成から令和の時代に移行し、一人ひとりが生きる喜びを感じ、それぞれの目的が達成されることを願いながら、昭和と平成に流行した歌を振り返り、来場者とともに良き時代を懐かしむ機会を提供し、地域に元気を与え『やさしさと生きる喜び』をもたらす、懐かしく勇気が湧いてくる演奏会とする。</p> <p>また、地域文化活動の向上に寄与し、単独ではなかなか活動発表の機会を得られない団体が経験を積む機会を創出。</p> <p>更に、あきたスグッチファンドの助成を受けた事業であることをアピールし、地域課題の解決のための市民活動支援ファンドであることの賛同を得て、寄付をお願いする。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>中高年世代の来場者が多く、青春時代と選曲がオーバーラップしたことで懐かしさに浸り、演奏会という非日常の空間に身を置くことで、多くの方々に共感・感動を与えることが出来た。また、平成の曲目は、人生の応援歌的な要素があり、インパクトがあった。そして、各団体の単独演奏と合同演奏の場面も工夫し、アットホームなコンサートとなり、約8割の来場があった。参加者から「合唱にチャレンジしてみたい」との声も聴かれ、芸術文化向上に微力ながら貢献出来たと感じている。</p> <p>今回の協働開催3団体との交流が実現出来、「また次回も是非やってみたい」「今度は自団体の演奏会を企画したい」という感想もあり、互いに郷土への愛着の深さを確認することが出来た。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>福祉施設への訪問箇所や回数が増えることで自団体のレパートリー拡大や技術力アップにもなり、これからも地域社会に認められ、また評価される団体となれる様、これからも取組んで行きたいと考えている。</p> <p>同様に、共演できた団体や他団体とも演奏する機会があれば積極的に取組んで、地域の文化発展に一役を担いたい。</p>		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名 混声合唱団 横手フィオレンテ

事業名 音楽パワーで地域を元気に！歌でつながる地域連携型コンサート



① 会場の横手市ふれあいセンター
かまくら館大ホールでの合同演奏

開演を待つ各団体の様子②



混声合唱団 横手フィオレンテ団員（コンサートを終えて）

団体情報

団体名	あぶこれ	所在地 (市町村名)	大仙市
-----	------	---------------	-----

事業紹介

事業名	生薬資料展示会（龍角散資料展示）		
実施日	令和2年8月17日～21日秋田市さきがけホール	162名	参加人数
	令和2年9月21日～25日美郷町六郷湧太郎	284名	446名
事業内容	<p>この事業は、秋田県が発祥の龍角散や、秋田県での生薬にスポットをあてて取り組むことです。</p> <p>江戸時代、秋田藩の御殿医だった藤井家が秋田市で龍角散を創製し、美郷町と八峰町の生薬を使用したようです。そこで、このことを認知して頂くために秋田市と美郷町六郷で生薬と龍角散の資料展示を実施する。</p> <p>また、生薬資料館の設立を促すために龍角散の発祥地としての認知度を高めていきます。生薬資料館を設立する目的は、観光資源をつくり、地域の活性化に取り組むためです。</p> <p>今回の展示会での目的は、資料館設立の有志志願者を集めることです。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>展示会での来場者は、目標500人で達成446名でした。</p> <p>有志志願者は、目標20名で達成13名でした。</p> <p>生薬資料館のみとはいかなかったのですが、有志志願者のご協力のもと株式会社を設立し、2021年春の開館を目標に、歴史文化資料館を準備中です。</p> <p>場所は、美郷町六郷です。観光資源をつくり、地域の活性化に取り組んでいます。</p> <p>現段階では、生薬資料展示会の事業の結果として、順調に推移していることから、達成と評価したいと思います。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>団体としては、今年は3月に展示会も予定していましたが、新型コロナの影響で延期にしました。安心して開催できる時期に準備していきます。</p>		

団体名	あぶこれ
事業名	生薬資料展示会（龍角散資料展示）

「龍角散」のふるさと秋田
健康を支えた家庭薬展

会場・さきがけホール

入場無料

令和元年
8月17日(土)
-21日(水)
[19日(月)休館日]
10:00～17:00
(最終日8月21日は15:00まで)

江戸時代 佐竹藩の御殿医でありました藤井家により創製された龍角散。明治時代になり家庭薬として販売され、今も世界に運出しています。発祥の地秋田で、龍角散をはじめ、多くの家庭薬の資料を集めました。懐かしい家庭薬から江戸時代の文獻まで展示しております。

8月18日(日)10時から
ご来場の方に中国茶をご用意いたします。
(数量限りあり)

遊中天

第21回あきたスギッチファンド事業
(生薬の資料展示会事業)

主催 あぶこれ(秋田市の文化を伝える会)
協賛 六郷湧太郎、中実堂
お問い合わせ先 あぶこれ 090-6807-6248(携帯)

秋田市さきがけホールでのポスター



さきがけホールでの展示①



さきがけホールでの展示②



六郷湧太郎での展示①



六郷湧太郎での展示②



六郷湧太郎での展示③

団体情報

団体名	特定非営利活動法人あきた花咲く教師力 ネット	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	---------------------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	教師・医師・保護者で学び広げる特別支援教育講座		
実施日	2019年8月17日		参加人数
			80名
事業内容	<p>第一部 発達障害の子どもへの対応～基礎基本から応用まで～</p> <p>第二部 保護者の 子育て体験談</p> <p>第三部 特別支援教育の授業作り</p> <p>第四部 専門医から見た発達障害の子どもへの対応（澤石ドクター）</p> <p>第五部 スペシャリストが教えます</p> <p>第六部 スペシャリストが答える！！学校・家庭で子どもに教えるべき大切なこと 本音シンポジウム</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>参加者80名内訳（教員45名、学生2名、看護師5名、塾講師5名、放課後デイ4名、幼稚園保育園教員6名、保護者13名）。</p> <p>参加者のアンケートはどれも好評であった。来年も参加したいという人は約9割。</p> <p>新規参加者の増加、新しい連携が生まれそうであること、これからもテーマを変えながら、社会的な課題解決に向けて、できることを行っていきたい。そうした思いを更に強くするセミナーであった。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>令和2年11月28日杉山登志郎先生に学ぶ特別支援教育と虐待啓発セミナーを予定。</p> <p>コロナウィルスの影響もあり、オンラインと、会場というハイブリット型のセミナーに挑戦する。杉山登志郎氏は日本屈指の被虐待児の臨床例をもつ児童精神科医である。そのドクターから児童虐待について学び、社会に発信していく。また、10月から12月にかけて全6回シリーズで和の作法教室を実施。秋田市のあきた産業文化施設松下において小学生を対象に和の文化に触れる教室を開いている。</p>		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名 特定非営利活動法人あきた花咲く教師力ネット

事業名 教師・医師・保護者で学び広げる特別支援教育講座



秋田市の Au にて 80 名を集めてのセミナー開催。教師による講座があった。



医療療育センターの澤石氏による講演と医師、教師、保護者によるシンポジウムである。



会場は熱気にあふれ、保護者発表に涙する人も多くいた。

スギッチファンド助成事業 活動報告書 1

団体情報

団体名	特定非営利活動法人 秋田たすけあいネットあゆむ	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	----------------------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	「子どもの貧困と私たちにできること」講演実施		
実施日	令和1年10月4日	参加人数	
		180名	
事業内容	<p>こどもの貧困問題が深刻化しています。秋田県は貧困率も高く全国ワースト5に入ります。親が貧困であるということは子どもも貧困であるという構図は貧困の連鎖につながっているのは言うまでもありません。多くの方々にこの実情を知っていただくため、湯浅誠氏を秋田に迎え、講演を実施。関心をもっていただけるよう、広報し、貧困問題をともに考える機会にしたいと思えます。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>講演会は当初100名前後を予定していましたが、180名の方々においでいただき、講師の湯浅先生への質問や疑問が飛び交う大変活発な講演会になりました。関係各方面の方々にチラシを送り、興味のある方、多数の参加者にこの問題の関心の高さを感じました。予定の公演時間をオーバーし、やり取りが行われました。団体の活動も多くの賛同を頂くことができました。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>「知る」機会をもってもらえるように、講演会、イベントも行っていきたい。当団体の活動が必要ではなくなる日まで前に進めていきたいと思っています。地域の「みんカフェ」のオープンやひきこもりの社会復帰訓練の場として、単身高齢者への「お弁当配達・生活支援」を来年度からスタート予定です。地域の「つながり」を深めていきながら、最後まで地域で暮らせるためのお手伝いを実施予定です。</p>		

団体名	特定非営利活動法人秋田たすけあいネットあゆむ
事業名	「子どもの貧困と私たちにできること」講演実施

講演会の様子



団体情報

団体名	おおだて de 子育て	所在地 (市町村名)	大館市
-----	-------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	わわわ de 子育てカフェの開設		
実施日	令和元年 8 月 1 日～10 月 30 日		参加人数
			155 人
事業内容	<p>大町商店街の空き店舗を活用し、子連れで気軽に集える場として「わわわ de 子育てカフェ」を開設。令和元年 10 月 1 日オープン。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・営業日時…月曜～金曜 10:00～16:00 ・利用料…1 家族 150 円 (3 時間) ・設備…カフェ&ワーキングスペース、キッズスペース、授乳・オムツ替えスペース、物販スペース 		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>令和元年 10 月 1 日に「わわわ de 子育てカフェ」をオープンし、キッズスペースのあるカフェ&ワーキングスペースとして集客を図った。利用者からは「赤ちゃんを連れてランチできる場所がこれまでなかったので、このような場所ができて嬉しい」「赤ちゃんと一緒にゆっくり過ごせるのが嬉しい」という声をいただいた。</p> <p>子育て中のママさんたちにニーズがあることは分かったが、事業として運営していくためには経営面での課題がたくさんあるため、長期継続のための計画を立てていきたいと考えている。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>大館市内で民間が運営する子育て広場は唯一であり、キッズスペースとワーキングスペースが一体になった施設は東北初である。唯一である利点を生かしつつ、連携できる他の施設や団体（商店街、行政運営の子育て広場など）と協力して大館市全体で賑わいを創出し、活気のある街にしていきたい。</p> <p>まずは、長期に継続できるよう安定した事業計画を立てていきたい。</p>		

団体名	おおだて de 子育て
事業名	わわわ de 子育てカフェの開設



絵本の読み聞かせ



助産師さんのお話会



J A あきた北とのコラボ 食育イベント



ヨガ教室

団体情報

団体名	秋田太平洋山マラソン実行委員会	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	-----------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	第4回 秋田太平洋山まんだらめの里マラソン RUN DAM		
実施日	令和元年 11月3日(日) 10時～14時		参加人数
			410名
事業内容	<p>『太平洋山リゾート公園とその周辺』をコースとし、ハーフ、10km、3kmの3種目のマラソンを、クアドーム ザ・ブーンをスタート&ゴールとして実施いたしました。</p> <p>高齢化が進んでいる地域で、住民一体となりイベントを開催し、地元をPRすることで、地域、住民ともに活性化することや、会場となる『太平洋山リゾート公園とその周辺』には、歴史的価値のある史跡や紅葉の名所など素晴らしい地域資源があるため、県内外の方にイベント開催を通じて地域の良さをPRし、継続して沢山の方に足を運んでいただける地域を目指すこと等を目的としたものです。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>大会では、地域毎にエイドステーション(給水所)の運営(ボランティア)を担い、参加者へのおもてなしや声かけを行えました。まさに開催地域一体となって一つの事業を完了でき、かつ開催地域のよさもPRできました。また、参加者のご家族は、近隣宿泊施設を利用されたり、周辺の紅葉も楽しまれており、地域のよさを知っていただける良い機会となりました。</p> <p>地域の皆さんと協力しながら開催している大会は他にはなく、私達の大会独自のものとなっております。目標は達成されたものと考えております。</p> <p>実行委員会内での結びつきも強くなり、このマラソン以外でも地域との協同意識も生まれました。今後につなげていきたいと思っております。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>現在は新型コロナウイルス感染症のため、地域での活動を自粛しているところですが、今後は地域密着型のイベントやこの地域の利活用を検討していきたいと考えております。</p> <p>まだ具体的な企画まで至っておりませんが、地域の皆さんとも協力・協同して活動して参りたいと考えております。</p>		

団体名 秋田太平山マラソン実行委員会
事業名 第4回 秋田太平山まんたらめの里マラソン RUN DAM



スタート前の選手（ハーフ選手）



スタート直後 10km選手



選手受付スタッフ、ボランティア



エイドステーション（給水所）ボランティア



閉会式



表彰式

スグッチファンド助成事業 活動報告書 1

団体情報

団体名	本庫 HonCo	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	----------	---------------	-----

事業紹介

事業名	秋田再発見プロジェクト 『日本奥地紀行』を読む 探検家イザベラ・バードが見た世界		
実施日	読書会 『日本奥地紀行』を読む (於: 本庫 HonCo)	参加人数	
	7月21日: 関連本、イザベラ・バードの旅程紹介	15名	
実施日	9月1日: 久保田の記述を中心に話し合い	17名	
	10月27日: 参加者有志の町歩きの記事と、魁新報掲載の写真紹介	17名	
実施日	対談会 探検家イザベラ・バードと『日本奥地紀行』		
	11月17日 (於: ALVE 2F ホール B)	92名	
事業内容	<p>読書会 『日本奥地紀行』を読む (於: 本庫 HonCo。ナビゲーターとして鑑啓記氏)</p> <p>7月21日: イザベラ・バードの紹介、関連本、バードの旅程を紹介した</p> <p>9月1日: 久保田の記述を中心に当時の羽州街道を紹介。意見交換を重ねた</p> <p>10月27日: 参加者有志で行った10月13日の秋田市内町歩きの報告と秋田魁新報連載の記事を紹介。記事を担当した藤原佐知子氏が、掲載の写真撮影やバードについて取材した際の様子を語った</p> <p>対談会探検家イザベラ・バードと『日本奥地紀行』 11月17日 於: ALVE 2F ホール B</p> <p>来場者が手にとってみられる資料が展示された場内で、鑑氏、藤原氏に加え、探検家高橋大輔氏を迎えた鼎談を開催した</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>近年関心が高まりつつある英国の女性探検家イザベラ・バードについて、彼女が記した『日本奥地紀行』を中心に読み進んだ。本の中でバードは、明治初期の秋田の様子を紹介している。この本を実際に読む人、バードと秋田のかかわりを知る人、それらを語る事が出来る人が増えた。当初目的とした、共読体験の提供や、地域に対する知見を深める機会の提供は、おおむね達成することができたと考えられる。</p> <p>また対談会では探検家の高橋大輔氏から世界情勢とバードの探検とのつながりについての見方を伝えられ、本からの知見が展開していく様子が見られた。参加者の約6割からアンケートがあり、極めて満足、満足の評価が8割を超え、やや不満、不満の件数はなかった。</p> <p>読書会および対談会の参加者満足度は極めて高く、『日本奥地紀行』および羽州街道に対する認知度を高め、秋田にある文化的資産についての意識を高めることが出来た。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>バードが歩いた道を実際に訪れてみるという企画がある。</p> <p>今後も深く本を読み進める読書活動を支援し、共読体験を提供する。秋田にある文化資源の再発見を通じ、郷土への知見を深めていきたい。</p>		

団体名 本庫 HonCo

事業名 秋田再発見プロジェクト『日本奥地紀行』を読む 探検家イザベラ・バードが見た世界

読書会 全て本庫 HonCo 館内

第1回 令和元年7月21日(日)



ナビゲーターである鑑啓記氏によるイザベラ・バードの紹介と彼女が著した『日本奥地紀行』を紹介。本テーマについての資料が盛んに刊行されている昨今の状況と、『日本奥地紀行』がもつ多様な意味などの紹介があった。(左図)本テーマに関する資料を館内で展示した。(右図)資料を自由に手に取ることができる時間を設けた。その後、見つけた関連本などを持ち寄る参加者もいた。



第2回 同年9月1日(日)



この旅でバードが携行し参考に旅を進めた地図(ブラントン『NIPPON』)を原寸大で再現した。(左図)当時の地図を広げ、バードの旅程や現在の秋田市内ではどのあたりになるか検討する参加者もいた。(右図)実際に歩いてみたいという話が広がり、有志で10月13日に現地見学会を開催することとなった。



現地見学 同年10月13日(日) 鑑氏の協力を得て、フィールド・ワークとして急遽開催した。

現在の秋田市とバードが訪れた明治時代の地図を対比した本研修の旅は、彼女が高く評価した久保田の城下町の町並、その形成が水の運びを中心に形成されていたことを確認するよい機会となった。



第3回 同年10月27日(日) これまでの読書会の振り返りとこれからの方向を模索する回となった。初参加の方もいたことから、復習を兼ね鑑氏から『日本奥地紀行』とイザベラ・バードの旅の生涯を解説してもらった。10月13日(日)開催の「久保田の町見学ツアー」の報告、藤原氏から、バードの旅を伝える記事を書いた際に気にかけてた事などを話してもらった。



対談会 同年11月17日(日) 於:ALVE 2F ホールB
秋田再発見プロジェクト 探検家イザベラ・バードと『日本奥地紀行』

『日本奥地紀行』の原著、各種資料、内容紹介の掲示を行い、自由に閲覧できるようにした。

読書会に引き続き、鑑啓記氏による『日本奥地紀行』の紹介があり、藤原佐知子氏からバードの旅を伝える現在の秋田の写真の紹介の後、バードも会員であった王立地理学協会フェロー会員である探検家 高橋大輔氏から、当時の世界情勢と探検史からみたイザベラ・バードの紹介があった。

会場全体から質問を募った。時間内に取り上げられなかった質問については、回答を希望する質問者へは後日直接返答した。



団体情報

団体名	CAP あきた	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	---------	---------------	-----

事業名	CAP あきた公開セミナー		
実施日	公開セミナー (I) 2019.9.26 (木) 13:30~15:30 65人	公開セミナー (II) 2020.1.10 (金) 13:30~16:00 50人	参加人数 115人
事業内容	<p>公開セミナー (I) 「子どもの視点で捉えた暴力被害の現状」 講師：岩城正光 (愛知県弁護士会)</p> <p>被虐待児の心身のダメージや生きにくさを語り、子どもの「アドボケイト (代弁者)」の必要性を強調した。司法・教育分野において、性虐待被害者や DV 被害者の心理状態への理解が不十分なため、救いきれない判例が続いていると変革を求め、また、暴力加害者の中にある被害性について示唆した。</p> <p>公開セミナー (II) 「解決志向ブリーフセラピー」 講師：柴田健 (秋田大学教授)</p> <p>小児期の逆境的体験はおとなになってからの健康リスク・社会的リスクを大きくすることが分かっている。リスクを小さくする方法として開発された上記方法を学んだ。「解決とは問題と別の所につくり上げていく」「小さい変化が大きな変化を生み出す」「うまくいっている事を増やすという考え方」「変化のリソース (資源) は本人の中にある」等について学んだ。</p>		
(評価) 目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<ul style="list-style-type: none"> ・公開セミナー (I) (II) とともに、教育・保育関係者、司法・警察関係者、行政機関、相談機関、医療関係者、児童福祉施設関係者、一般など、幅広い分野からの参加をいただいた。 ・参加者はそれぞれの専門分野の方々であるが、アンケートの感想から、「新しい視点」「深い気づき」「更なる知見」「新しい組織づくりは望ましい組織づくりである」と思い至ったなど、「今後の現場での実践に役立つ知識が得られた」との記載が多かった。 ・CAP あきたでは、公開セミナーを 2009 年から毎年、子どもへの暴力防止をテーマに据え、講師を招へいして開催しており、2019 年度はスグッチファンド助成事業を活用することにより、一線で活躍する県外講師を招へいしたり、県内講師との連続セミナー化するなど、最新の情報提供が受けられる魅力的な企画を打ち出すことができた。その結果、新たに司法・警察関係者や医療関係者の参加も得ることができたことは、CAP あきたにとって、大きな収穫であると感謝している。 		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>子どもへの暴力防止の活動の一環として、次の 2 点を考えている。</p> <p>(1) 広く地域で誰でもが参加でき、暴力のない子育てができるように、新たに早い時期に全県を対象とした公開の CAP ワークショップを継続で開催したい。</p> <p>(2) 子どもを取り巻く社会情勢をキャッチしながら、子どもに関わる関係機関等と連携を取り、子どもや家族問題の知識・解決法等の習得やスキルアップを目的に公開研修会 (セミナー等) を今後も開催していきたい。</p>		

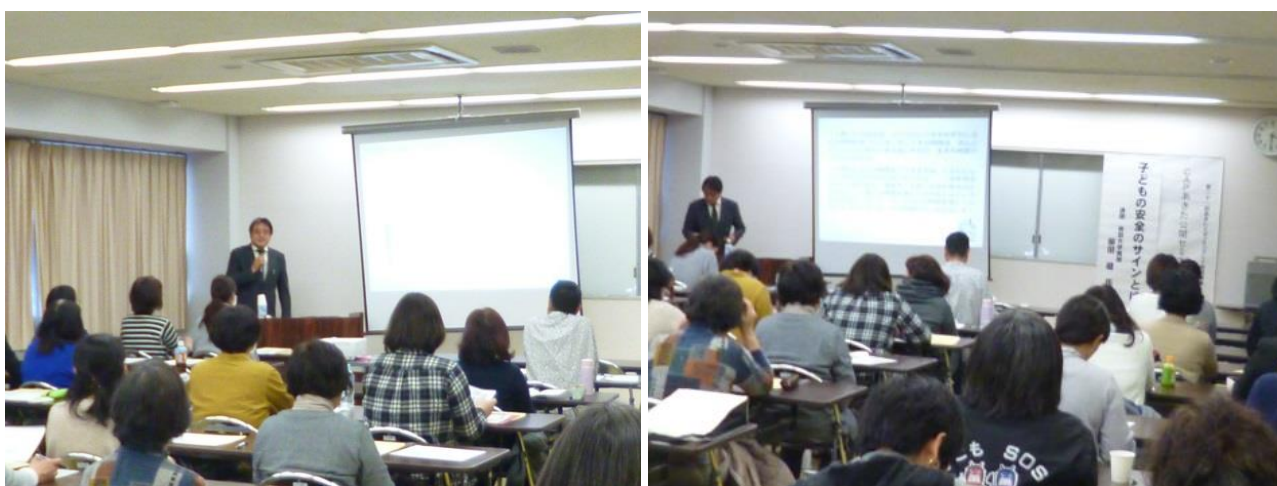
スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名 CAP あきた
事業名 CAP 公開セミナー2019

公開セミナー2019（Ⅰ）講師：岩城正光氏



公開セミナー2019（Ⅱ）講師：柴田健氏



団体情報

団体名	のしろまち灯り実行委員会	所在地 (市町村名)	能代市
-----	--------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	2020：のしろまち灯り木育イベント ～大好きな『木』を使ってみんなでコロコロドミノを作ろう！～		
実施日	令和2年1月26日（日）午後2時～午後7時 ※灯りの一斉点火は5時	参加人数	
		延べ1300人	
事業内容	<p>「のしろまち灯り」は平成19年から能代で開催されている「木」と「灯り」にこだわった参加型の手作りイベントです。能代市の中心市街地の賑わい創出と商店街の活性化も視野に「まち」を繋げる工夫をしてきました。能代市役所が新庁舎となってからはイベントスペース「さくら庭」や「大会議室」を利用し厳寒対策をしながら子供から大人までが楽しめる企画を実施。今年は「木都」能代の木を使って一体感をめざし、からくり装置の世界チャンピオン「野出正和氏」（TOYクリエイター、無垢工房、糸のこアカデミー主宰）監修のもとピタコラ装置チーム（11チーム）を募集。会場全体が秋田杉のレールとボールで繋がり、独自のアイデアと創造力で装置を完成。</p> <p>小学生、中学生、高校生、家族、大人チームは大成功を収めました。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>この「のしろまち灯り」には「木」と「灯り」「飲食」ブースが設置され、いろんな楽しみ方ができます。特に大会議室（旧議事堂）は「木づかい」の象徴。これまで、コンサートや木のおもちゃ、木のワークショップを実施してきましたが、みんなで楽しむ一体感が出せずバラバラな集合帯でした。</p> <p>この度、みんなで装置づくりを学び、独自の発想を持ちながら11チームが秋田杉で繋がり、会場は作り手と観る人が一体となり感動の連続でした！</p> <p>子供達の「ものづくり」への関心が高まり、参加者からは「また挑戦したい」という声が多く、野出氏の楽しい「コロコロドミノ装置」は木都能代の明るい未来を創出してくれました。中学、高校、大学生のボランティア人数も過去最多であり「地域づくり」に関心を持ってもらえたことも成果です。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>今年度「のしろまち灯り」は、コロナウイルス感染症により、残念ながら中止の決定をしました。関心が高まり集客も増加。若者達との連携も増え、能代の冬をみんなで楽しむ企画を語り合っていました、止む終えません。</p> <p>能代は夏のイベントは沢山ありますが、冬は何もありません。</p> <p>現在は1会場での開催ですが、以前のように商店街対象に「まち」を繋げ「人」を結ぶことも検討。商店街「コロコロドミノ装置」競技も楽しいかもしれません。今後も野出氏をアドバイザーとして「木」にこだわり、灯りのレベルアップを図りつつ、現在の実行委員会をコアとして継続したいと考えております。</p>		

団体名 のしろまち灯り実行委員会
 事業名 2020：のしろまち灯り木育イベント
 ～大好きな『木』を使ってみんなでコロコロドミノを作ろう！～

コヒ 習習 産庁 幸区 2020年(令和2年)1月27日(月曜日)

アイデア凝らしドミノ

能代市所管する周辺地区に開かれた第1回の『のしろまち灯り』。木を使った「コロコロドミノ」が披露された。最近な材料でさまざまな仕掛けを作り、木のポルを駆使している。学校や市民有志のグループが自主的に製作し、発表をうけて、来場者も感動した。木を巧みに使った。

コロコロドミノ装置だ。この日組の土を動かして楽しむもの。観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。この日組の土を動かして楽しむもの。観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。この日組の土を動かして楽しむもの。観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。

能代市 木を使って仕掛け装置 11組が まち灯りを盛り上げ



さまざまな仕掛けが来場者を楽しませた

「子どもたちにのみならず、大人も楽しめるように、木のポルを駆使して仕掛けを作った。観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。この日組の土を動かして楽しむもの。観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。

「観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。この日組の土を動かして楽しむもの。観覧しに会場が開放され、NPOの職員とボランティアで「ドミノ」を動かして楽しむ。会場は「ドミノ」で遊ぶ。



11チームが大奮闘！会場みんなで応援しました♪



団体情報

団体名	Third place AKITA	所在地 (市町村名)	秋田市
-----	-------------------	---------------	-----

事業紹介

事業名	あなたはひとりじゃないよ カフェ		
実施日	2019年10月6日、11月16日、12月21日		参加人数
			12人
事業内容	<p>まだ秋田に無い AYA 世代（18歳～39歳までの若い世代）のがん患者会の開催をして、話をしながら交流を出来る場所作りがメインです。</p> <p>その会の開催に伴い、開催に必要なピアサポート研修、場所作りや会の雰囲気勉強する為に県外のがん患者会（宮城県内4カ所）に参加をしてきました。</p>		
(評価)目標は達成されたか。団体にはどんな効果や変化がありましたか	<p>今までに秋田県に無かった AYA 世代のがん患者が立ち上がり、この会を求めて参加いただけだと思います。</p> <p>各県にもまだ AYA 世代の患者会は少ないので、秋田で早い段階で立ち上げが出来たことを嬉しく思いますし、これをきっかけに全国の AYA 世代に関して活動している方々と知り合い、意見交換や情報共有などが出来ました。</p>		
団体として、今後の事業展開や新たな企画はありますか	<p>今後の事業展開は、事務所を兼ねた拠点を構えたいです。そこを事業所に近い形の場所を作り（理想は空き家を活用し、物作りなど作業をして利益を生めるシステムを考え構築する）、患者会の定期的開催継続と、必要な時にふらっと来て相談出来る場所も兼ねたいです。</p> <p>特に就労に関しての課題に積極的にトライをしていき、まだまだ山積みな AYA 世代やがん患者さんの課題に取り組んでいきたいです。</p>		

スギッチファンド助成事業 活動報告書 2

団体名	Third place AKITA
事業名	あなたはひとりじゃないよ カフェ



いまここ Smile

若い世代ゆえの悩み(結婚・出産・子育て・就労・美容など)を抱えているがん患者さん、仲間と一緒に物づくりを楽しみながら、おしゃべりしませんか?今この時間を大切に仲間と一緒に笑顔になりましょう!

同じ悩みを共有できるがん患者さん、年齢制限は特に設けておりません。ご参加おまちしています。

開催日時: 毎月第4水曜日13時半~

場所: 東北労災病院 1F 患者図書室

今月の開催 **7月24日(水)13時半~**
~勝ち虫とんぼ~



材料費:200円

講師 いまここSmileサポーター
簡単に作れるように、材料を準備しています。楽しみながら一生涯作ることで笑顔になります、仲間とお話ししましょう!
お申し込み連絡をお願いします。

お問合せ、お申し込みは TEL 022-275-1111

東北労災病院がん相談支援センター(伊藤Ns)・化学療法センター(濱中Ns)

担当 玉井相談員・伊藤看護師・濱中看護師・穴戸看護師

AYA世代 (若年性) がん患者さんのためのカフェ

思春期・若年成人世代にある時期に
がんを経験した場合、病気のことだけでなく
仕事や生活のこと、子供のことなど、
さまざまな悩みを抱える方は少なくありません。

日時...2019年11月17日(日)
16:00~

場所...BAKERYCAFE こうーあん
宮城県多賀城市伍上山3-1-25

参加費...500円(ロールケーキ、飲み物代)
※持ち帰り可

対象...15歳以上40歳未満にある時期に
がんを経験されたがん治療中の方、
そのご家族、ご友人の方。
※がんの種類、性別は問いません。

AYA世代サークル
Hiyawari!

病名についての不安や
気になること、
病名以外のことも、
なんでも気軽に相談しませんか?
・話を聞くだけでもOK!
・ゆっくりお茶を飲みながら
心休まるカフェをしましょう。

お申し込み、お問い合わせはこちら!

若生(わこう)
TEL: 090-2363-8139
Email: one-031125@docomo.ne.jp

※お申し込みは11/14まで
※参加費持ちしてお入り

お電話の場合 月・水・金の10時~18時までの間で
お問い合わせいたします。メールはいつでもOKです。

2020年12月発行